インバウンドの「変化の兆し」をいち早く

都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：8 月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●9 月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 2)、**8 月の訪日外客総数(推計値)は 16 万 9,800 人**であった。2019 年同月比では-93.3%と前月(同-95.2%)から減少幅は縮小しているが、依然として 90%超の減少が続いており、本格的な回復には至っていない。一方、同月の日本人出国者数は 38 万 6,400 人と前月(27 万 7,644 人)から増加。19 年同月比では-81.7%となり、減少幅は 6 カ月連続で縮小した。インバウンド需要に比してアウトバウンド需要の回復が先行する状況が続いている。

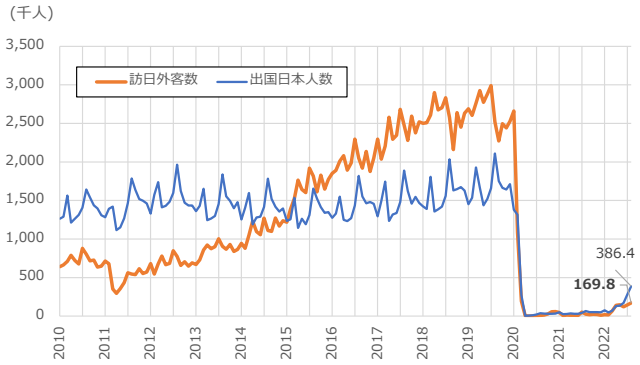
▶訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると、ベトナムが 3 万 3,000 人と 6 カ月連続で最多となった。次いで韓国が 2 万 8,500 人、米国 1 万 5,800 人、が 1 万 1,200 人、中国が 1 万 2,300 人、フィリピンが 7,800 人と続く。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、6 月は 12 万 430 人**となった(2019 年同月比-95.8%)(図 2 及び表 3)。うち、観光客は 1 万 2,405 人(同-99.5%)、商用客は 3 万 908 人(同-79.6%)、その他客は 7 万 7,117 人(同-32.3%)であった。観光客は、添乗員付きの団体ツアー客の受け入れ再開の影響もあり、東京パラリンピックが開催された **21 年 8 月(1 万 3,304 人)以来の水準**となった。

▶4-6 月期の目的別訪日外客数をみれば、観光客 2 万 5,879 人(2019 年同期比-99.7%)、商用客 6 万 6,244 人(同-85.2%)、その他客 31 万 4,901 人(同-25.4%)となった。入国者数の上限引き上げなどの水際対策緩和が進捗した影響もあり、その他客は 22 年 1-3 月期(8 万 7,249 人)から大幅増加した。

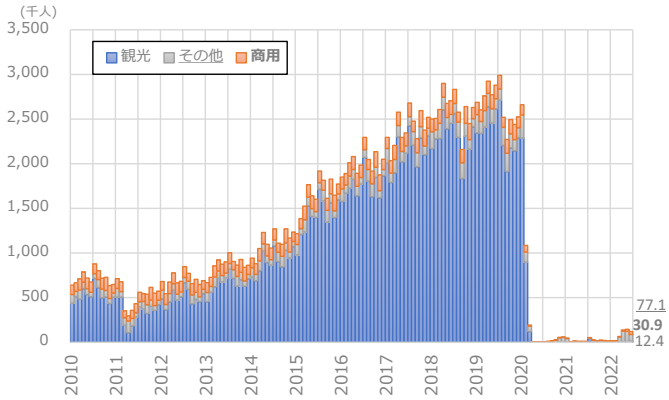
▶**10 月 11 日以降、日本の厳格な水際対策が大幅緩和**された。これまで入国時の大きな制約となっていた **1 日あたりの入国者数 5 万人の上限が撤廃**された。また、3 回目のワクチン接種証明書の提示などが引き続き必要ではあるが、**短期滞在ビザの免除**や**観光目的の外国人入国者の個人旅行も認可**された。観光庁が公表した入国者健康確認システム(ERFS)による今後の外国人観光客の新規入国希望者数(9 月 29 日時点)をみると、10 月 4 万 2,410 人、11 月 9,167 人、12 月以降 2,329 人、合計 5 万 3,906 人の入国が予定されている。前週調査の合計(5 万 4,734 人)と比して、828 人減少したものの、依然 5 万人規模の入国が予定されている。このため、今後の訪日外客数は、これまで低調であった観光目的を中心に回復が期待されよう。

図 1　訪日外客数及び出国日本人数の推移



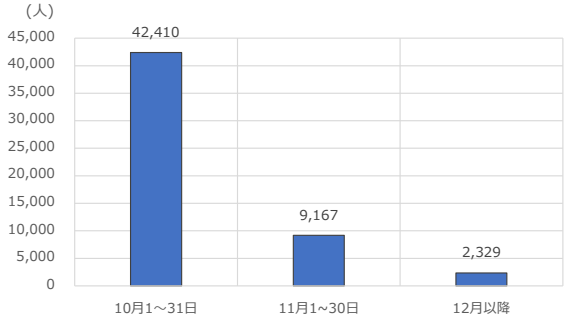
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2021 年まで確定値、22 年 1-6 月は暫定値、22 年 7-8 月は推計値

図 2　目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図 3　今後の外国人観光客新規入国希望者数の推移



出所:観光庁 HP「今後の外国人観光客新規入国希望者数」より作成。
注) 入国者健康確認システム(ERFS)の申請数のため、随時変化している。また、実際に入国するかは不明。なお、10 月 11 日以降、新規入国時に ERFS による申請を求めないことに伴い、新規入国予定者数の公表は行われない。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020 年 11 月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

●8 月関西の財貨・サービス貿易及び 7 月のサービス産業動向

▶関西 8 月の**輸出は**前年同月比+15.7%と **18 カ月連続の増加**だが、**前月(同+19.5%)から減速した**(図 4)。また、**輸入は**同+39.8%と **19 カ月連続で増加し、2 桁の高水準が続いている**(前月:同+47.1%)。輸出の伸びが減速し、輸入の伸びが高水準で推移した結果、関西の貿易収支は-688 億円と 2 カ月連続の赤字となった(前月：-364 億円)。

▶対中貿易動向をみると(図 5)、関西 8 月の対中輸出は前年同月比+6.8%と 4 カ月連続で増加したが、前月(同+17.7%)から減速した。輸出増に寄与したのは半導体等製造装置や非鉄金属等であった。また、対中輸入は同+30.7%と 4 カ月連続で増加し、2 桁の伸びが続いている(前月：同+34.2%)。うち、輸入増に寄与したのは無機化合物や衣類及び同附属品等であった。

▶8 月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は 3 万 4,311 人と前月(2 万 5,189 人)から増加し、コロナ禍の影響が始まった 2020 年 3 月(3 万 5,696 人)と同水準となった(2019 年同月比-94.8%)。また、日本人出国者数は 4 万 2,797 人と前月(2 万 6,008 人)から増加。19 年同月比では-89.7%となり、減少幅は 5 カ月連続で縮小した。

▶**7 月のサービス業の活動は COVID-19 の感染再拡大を受け悪化した**。サービス業の生産活動を示す第 3 次産業活動指数(季節調整済み：2015 年平均=100)をみれば(図 7)、7 月は 99.2 で前月比-0.6%低下し、2 カ月連続のマイナス(前月：同-0.4%)。4-6 月平均と比べると-0.5%低下した(4-6 月期：前期比+2.4%)。対面型サービス業指数*は 88.8 と同-2.4%低下し、2 カ月連続のマイナス(前月：同-0.8%)。うち、**飲食店、飲食サービス業(同-3.5%、2 カ月連続)やその他生活関連サービス業(同-6.7%、3 カ月ぶり)が低下**した(前月：同-6.2%)。結果、4-6 月平均比-1.0%低下した(4-6 月期：同+6.3%)。

▶観光関連指数**(2015 年平均=100)は、79.8 と前月比-4.5%低下し、2 カ月連続のマイナス(前月：同-1.1%)(図 7)。感染状況の悪化に伴い外出機会が減少した影響もあり、**旅行業(同-10.7%、3 カ月ぶり)や宿泊業(同-16.5%、5 カ月ぶり)**が低下に寄与した(前月：旅行業：同+32.8%、宿泊業：同+6.6%)。結果、7 月の観光関連指数を 4-6 月平均と比較すると-3.1%低下した(4-6 月期：前期比+12.7%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第 3 次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店，飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図 4　関西 対世界貿易の推移

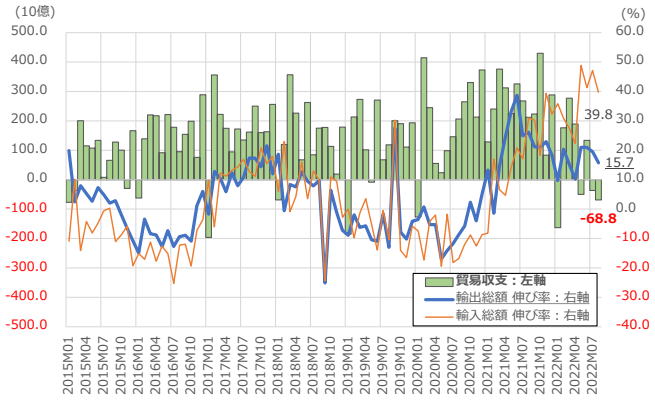
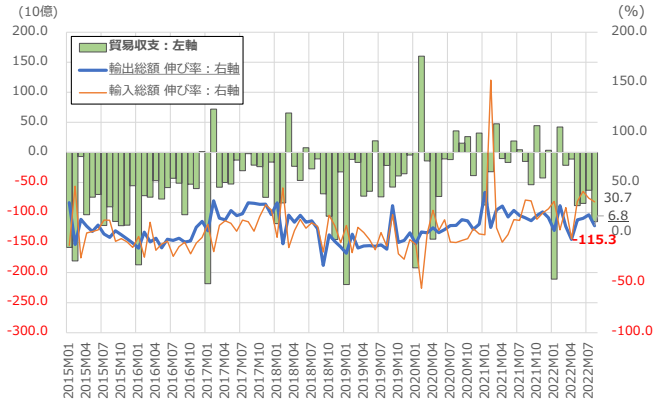
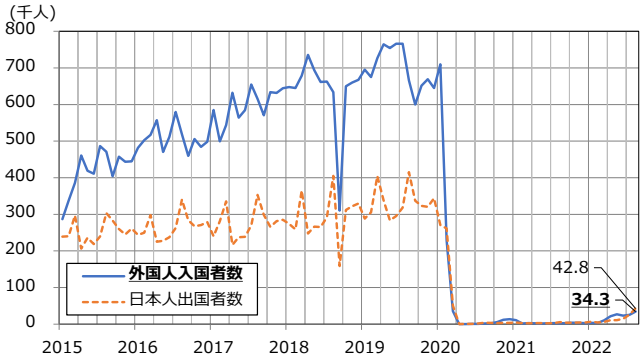


図 5 関西 対中貿易の推移



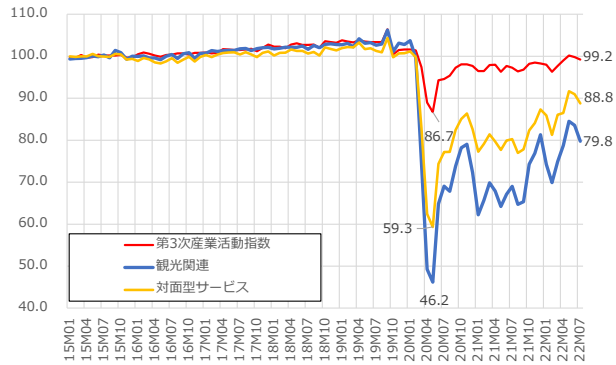
出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」より筆者作成

図 6　関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2022 年 8 月値は速報値

図 7　観光関連 対面型サービス 第 3 次産業：2015 年=100



出所：経済産業省「第 3 次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●6 月延べ宿泊者数の動向：関西 2 府 8 県

▶観光庁によれば、**6 月の関西 2 府 8 県の延べ宿泊者数(全体)は 6,438.8 千人泊**となった。COVID-19 の感染状況が改善されていたこともあり、2019 年同月比-33.1%と前月(同-33.8%)から減少幅は縮小した(表 1)。

▶**日本人延べ宿泊者数は 6,360.0 千人泊**であった。**2019 年同月比では-5.6%と減少幅は 4 カ月連続で縮小した(前月：同-11.2%)**(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が 2,160.6 千人泊、京都府が 1,657.7 千人泊、兵庫県が 907.8 千人泊、三重県が 459.4 千人泊、和歌山県が 275.9 千人泊、滋賀県が 252.0 千人泊、福井県が 205.9 千人泊、奈良県が 160.8 千人泊、鳥取県が 155.5 千人泊、徳島県が 124.7 千人泊であった。19 年同月比でみれば、京都府を除き依然減少傾向が続いているが、**京都府は 6 カ月ぶりのプラスに転じた(+13.2%)**。

▶**外国人延べ宿泊者数は 78.7 千人泊。2019 年同月比-97.3%と減少幅は前月(同-96.4%)から小幅拡大した**(表 1 及び図 9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が 43.2 千人泊、京都府が 22.3 千人泊、兵庫県が 4.9 千人泊、三重県が 2.2 千人泊、鳥取県が 1.4 千人泊、滋賀県が 1.3 千人泊、徳島県が 1.1 千人泊、和歌山県が 0.9 千人泊、奈良県が 0.9 千人泊、福井県が 0.6 千人泊であった。

▶関西 2 府 8 県延べ宿泊者を**居住地別でみると**(図 10)、**県内の延べ宿泊者数は** 1,534.7 千人泊となった(2019 年同月比+14.1%)。伸びは前月(同+11.5%)から拡大し **9 カ月連続のプラス**。県外は 4,695.2 千人泊(同-39.7%)であった。伸びは前月(同-39.5%)から小幅拡大した。

▶7 月の全国延べ宿泊者数(全体、1 次速報ベース)は 38,850 千人泊、2019 年同月比-25.0%と減少幅は前月(同-24.7%)から小幅拡大した。

図 8　府県別日本人延べ宿泊者数 推移

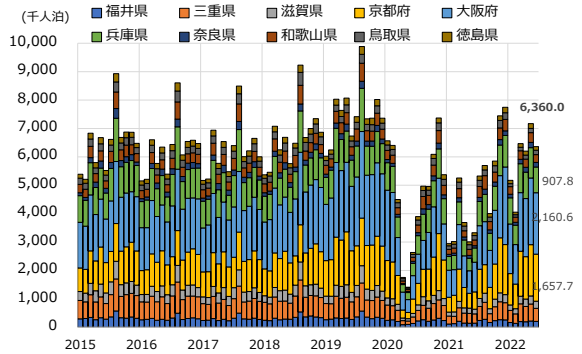


図 9　府県別外国人延べ宿泊者数の推移

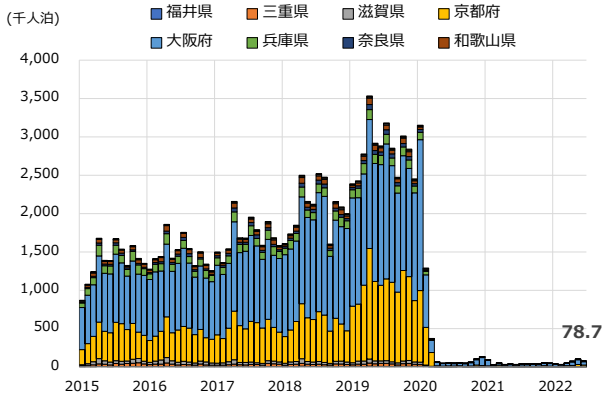
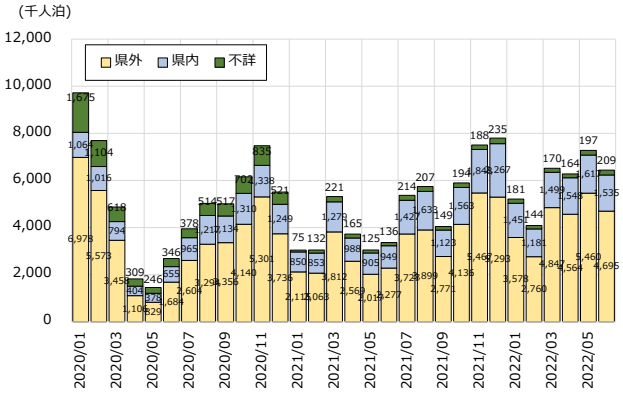


図 10　関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表 1　関西 延べ宿泊者数伸び率：6 月

2022年6月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数：(千人泊)	伸び率：21年比(%)	伸び率：19年比(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	伸び率：21年比(%)	伸び率：19年比(%)	延べ宿泊者数：(千人泊)	伸び率：21年比(%)	伸び率：19年比(%)
福井県	206.5	42.9	-27.0	205.9	43.2	-24.9	0.6	-18.1	-88.6
三重県	461.6	41.5	-29.8	459.4	41.2	-25.8	2.2	148.9	-90.0
滋賀県	253.3	50.1	-31.2	252.0	50.6	-25.0	1.3	-8.5	-96.3
京都府	1,680.0	174.0	-31.4	1,657.7	172.4	13.2	22.3	393.6	-97.4
大阪府	2,203.7	107.4	-42.6	2,160.6	106.8	-4.8	43.2	141.0	-96.0
兵庫県	912.7	80.2	-12.4	907.8	81.1	-1.4	4.9	-10.5	-96.7
奈良県	161.6	97.8	-25.9	160.8	97.1	-7.3	0.9	400.0	-95.0
和歌山県	276.8	37.0	-21.8	275.9	36.7	-8.1	0.9	246.2	-99.1
鳥取県	156.9	1.2	-28.4	155.5	1.1	-23.7	1.4	18.5	-93.6
徳島県	125.8	24.3	-32.0	124.7	23.5	-28.8	1.1	314.8	-89.7
関西2府4県	5,488.0	108.3	-33.7	5,414.7	107.9	-0.9	73.4	147.1	-96.6
関西2府8県	**6,438.8**	**91.5**	**-33.1**	**6,360.0**	**91.1**	**-5.6**	**78.7**	**140.2**	**-96.4**
全国	34,472.5	73.2	-24.7	33,836.3	72.1	-6.6	636.2	159.2	-93.4

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図 8～10 及び表 1)

表 2　2022 年 8 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対 2019 年比)

国・地域	総数　Total			総数　Total		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	8月	8月		1-8月	1-8月	
総数	2,520,134	169,800	-93.3	22,144,937	821,900	-96.3
総数(韓国・その他除く)	2,113,802	117,100	-94.5	16,646,187	574,900	-96.5
韓国	308,730	28,500	-90.8	4,733,063	85,400	-98.2
中国	1,000,639	12,300	-98.8	6,583,524	95,400	-98.6
台湾	420,279	5,000	-98.8	3,360,344	19,600	-99.4
香港	190,260	1,300	-99.3	1,504,959	5,900	-99.6
タイ	49,589	5,100	-89.7	806,386	21,200	-97.4
シンガポール	19,698	1,800	-90.9	255,497	7,500	-97.1
マレーシア	19,827	2,200	-88.9	280,713	8,500	-97.0
インドネシア	16,160	6,900	-57.3	257,248	48,000	-81.3
フィリピン	31,470	7,800	-75.2	364,361	41,900	-88.5
ベトナム	43,709	33,000	-24.5	337,718	160,600	-52.4
インド	13,308	5,500	-58.7	119,470	27,300	-77.1
豪州	26,951	2,700	-90.0	388,730	10,200	-97.4
米国	117,828	15,800	-86.6	1,149,817	58,500	-94.9
カナダ	27,568	2,000	-92.7	240,622	7,100	-97.0
メキシコ	4,800	500	-89.6	45,085	1,900	-95.8
英国	26,213	3,900	-85.1	240,839	13,800	-94.3
フランス	30,851	3,500	-88.7	225,795	14,800	-93.4
ドイツ	17,264	3,500	-79.7	154,336	14,100	-90.9
イタリア	22,804	1,600	-93.0	111,138	6,400	-94.2
ロシア	20,009	1,100	-94.5	87,202	4,000	-95.4
スペイン	8,321	700	-91.6	73,266	4,000	-94.5
中東地域	6,254	900	-85.6	59,137	4,200	-92.9
その他	97,602	24,200	-75.2	765,687	161,600	-78.9

表 3　2022 年 6 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対 2019 年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	6月	6月		6月	6月		6月	6月		6月	6月	
総数	2,880,041	120,430	-95.8	2,614,533	12,405	-99.5	151,577	30,908	-79.6	113,931	77,117	-32.3
韓国	611,867	11,168	-98.2	568,756	1,081	-99.8	28,323	5,786	-79.6	14,788	4,301	-70.9
中国	880,651	14,657	-98.3	813,189	892	-99.9	32,195	1,490	-95.4	35,267	12,275	-65.2
台湾	461,085	2,416	-99.5	444,467	214	-100.0	10,395	1,252	-88.0	6,223	950	-84.7
香港	209,030	833	-99.6	204,751	82	-100.0	3,333	404	-87.9	946	347	-63.3
タイ	62,984	2,544	-96.0	56,814	282	-99.5	3,484	1,144	-67.2	2,686	1,118	-58.4
シンガポール	47,264	1,388	-97.1	43,854	220	-99.5	3,076	1,010	-67.2	334	158	-52.7
マレーシア	30,534	1,165	-96.2	27,185	56	-99.8	2,280	705	-69.1	1,069	404	-62.2
インドネシア	49,290	7,041	-85.7	43,203	294	-99.3	2,260	635	-71.9	3,827	6,112	59.7
フィリピン	46,842	5,935	-87.3	40,168	1,294	-96.8	2,348	669	-71.5	4,326	3,972	-8.2
ベトナム	35,419	22,877	-35.4	15,939	351	-97.8	3,530	875	-75.2	15,950	21,651	35.7
インド	15,359	3,454	-77.5	7,360	179	-97.6	5,244	931	-82.2	2,755	2,344	-14.9
豪州	37,283	1,639	-95.6	33,353	375	-98.9	2,913	872	-70.1	1,017	392	-61.5
米国	175,491	9,724	-94.5	151,928	3,401	-97.8	18,571	4,077	-78.0	4,992	2,246	-55.0
カナダ	25,402	1,179	-95.4	22,764	406	-98.2	1,857	466	-74.9	781	307	-60.7
メキシコ	5,676	268	-95.3	5,027	67	-98.7	472	103	-78.2	177	98	-44.6
英国	25,801	2,044	-92.1	19,413	289	-98.5	4,981	1,208	-75.7	1,407	547	-61.1
フランス	21,317	2,351	-89.0	16,084	307	-98.1	3,769	1,369	-63.7	1,464	675	-53.9
ドイツ	15,697	2,089	-86.7	10,558	277	-97.4	4,274	1,437	-66.4	865	375	-56.6
イタリア	11,357	1,009	-91.1	8,657	140	-98.4	1,995	647	-67.6	705	222	-68.5
ロシア	8,844	548	-93.8	6,421	89	-98.6	1,582	228	-85.6	841	231	-72.5
スペイン	9,762	539	-94.5	8,581	87	-99.0	780	311	-60.1	401	141	-64.8
中東地域	7,747	762	-90.2	4,822	90	-98.1	1,369	458	-66.5	1,556	214	-86.2
その他	85,339	24,800	-99.7	61,239	1,932	-100.0	12,546	4,831	-99.6	11,554	18,037	-98.4

注) 目的別訪日外客数の定義については、図 2 注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2022 年 9 月 21 日付より筆者加工